

科目名称:	実用マナー演習 (前期)	
担当者名:	丸谷 めぐみ	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
マナーを身につけることは社会人として必要なだけでなく、より魅力的な人になるために不可欠な要素です。「他人のためだけでなく、自分のためにも必要な社会常識を身につけること」と理解し自分で考え、行動できるように取り組む姿勢を養います。また、周囲の方への思いやりの気持ちを大切に、自然な振舞いで表現出来るようになることを演習を通して身につけていきます。		
授業の達成目標・到達目標		
マナーとは何か、日常的なマナーと職業生活におけるマナーの違いの理解を習得する。自己評価と他者評価から習得度を理解し、マナー向上を目標とします。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP (2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP (4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP (1)					0
ビジネスDP (2)					0
ビジネスDP (3)			80	20	100
ビジネスDP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容 (内容・経験年数を記載)	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
学んだこと (レポート・課題評価)	自分の意見や感想が3つ以上、具体的に述べられており、読み手がなるほどと思える内容が含まれている。	自分の意見や感想が3つ以上述べられている。	自分の意見や感想が1つ～2つ述べられている。	自分の意見や感想がほとんど述べられていないか、分かりにくい。
学んだことの応用 (レポート・課題評価)	学んだことを今後どのように活かしていきたいかが、2つ以上、具体的に述べられている。	学んだことを今後どのように活かしていきたいかが、2つ以上述べられている。	学んだことを今後どのように活かしていきたいかが、1つ述べられている。	学んだことを今後どのように活かしていきたいかが、全く述べられていない、または分かりにくい。
授業への積極的関与	授業規律を守り、かつグループワークでは積極性がある。	授業規律を守っているが、グループワークでは積極性に乏しい。	グループワークでは積極性があるが、授業規律を守らない時がある。	グループワークの和を乱し、授業規律も守らないことがある。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 オリエンテーション マナーとは	日常の中で触れるマナーについて良かったこと気になることを書きだしておく	30分
第2回 第一印象の重要性	好感が持てる人、そうでない人について書き出しておく	30分
第3回 好感を与える態度・基本動作① 身だしなみ・表情・挨拶	身だしなみや表情のポイントを復習	30分
第4回 好感を与える態度・基本動作② 立ち居振る舞い	立ち居振る舞いについて復習	30分
第5回 グループワーク	グループワークで話し合ったことについてレポートにまとめ提出	60分
第6回 信頼感が伝わる言葉遣い 敬語の種類・活用	敬語や言葉遣いについて復習	30分
第7回 好感を与える話し方、聴き方	話し方、聴き方のポイントについて復習	30分
第8回 仕事の進め方 問題解決力を上げる報・連・相	好感を与える話し方、聴き方の復習	30分
第9回 好感度が伝わる電話応対の基本	仕事の進め方の復習	30分
第10回 訪問時のマナー	電話応対の基本の復習	30分
第11回 来客応対のマナー	訪問時のマナーの復習	30分
第12回 ビジネス文書の基本	来客応対のマナーの復習	30分
第13回 食事のマナー	日常の食事で箸使いなど意識して実践	30分
第14回 お付き合いのマナー 冠婚葬祭・金封・贈答	食事のマナーの復習	30分
第15回 グループワーク	グループワークで話し合ったことについてレポートにまとめ提出	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
レポート・課題80%、授業への積極的関与20%で評価します。

課題に対してのフィードバック

授業内で提出したレポート・課題について、評価し返却します。

教科書・参考書

必要な資料等はその都度配付します。